

## 豪雨災害対策の総合的政策の検討について

今年、梅雨期の集中豪雨や度重なる台風の上陸により新潟、福井県等全国各地で水害、土砂災害及び高潮災害により大きな被害が発生している。特に、多くの箇所において堤防が決壊するとともに、的確な避難ができなかったことなどにより高齢者を中心に多くの死傷者が発生している。

気候変動の影響等により、近年集中豪雨が多発する傾向にある。また、各地で今まで経験したことのないような大きな降雨が発生している。

少子高齢化が進展し高齢者世帯が増加するとともに、旧来の地域コミュニティの衰退が見られるなど、災害時の共助の体制は脆弱になってきている。加えて災害の危険性の高い低平地や斜面地に住宅が広がってきており、社会的にも災害に対する脆弱性が高まっている。

このような自然的社会的状況の変化を踏まえ、自助・共助・公助の役割分担も考慮し、災害に対して安全な社会の形成を図るため、従前からの水害、土砂災害、高潮災害についての対策を緊急に総点検し、抜本的な見直し・強化を図っていく必要がある。

そのため、ソフト、ハード一体となった総合的な豪雨災害対策を進めるため、以下のような事項について検討する。

的確な警戒・避難が行われるよう豪雨・高潮時のリアルタイム情報の把握・提供はいかにあるべきか

各地域で発生する可能性がある災害及びとるべき行動についての情報を平常時からどのように住民に周知されるべきか

少子高齢化や地域コミュニティの変化を踏まえた地域の水災防止力の再構築はいかにあるべきか

集中豪雨の頻発や少子高齢化の進展など最近の自然的社会的状況の変化を踏まえ、防災施設の機能の維持向上は如何にあるべきか

従前の計画を超える豪雨や高潮に対応するため、早急に治水等の効果を発現するような多様な計画や整備はいかにあるべきか

以上のようなソフト、ハード対策が相互に関連して計画・達成されるための総合的政策は如何にあるべきか

# 今後の進め方(案)

豪雨災害対策総合政策検討会

11年9日 平成16年度の災害の特徴について  
現状の課題について審議

豪雨災害対策総合政策委員会

(社会資本整備審議会河川分科会に設置)

11月15日 課題と対応策の骨子について審議

11月中

緊急的に対応すべき事項のとりまとめ

緊急アクションプラン  
(仮称)の策定

12月

具体的な施策について審議

災害時及び平常時の情報提供のあり方  
地域の水災防止力の構築

諸制度等に  
反映

17年

1月

具体的な施策について審議

防災施設の機能向上について  
多様な治水計画のあり方について

豪雨災害対策推進計  
画(仮称)の策定

2月

総合的な政策提言(案)について審議

3月

総合的な政策提言のとりまとめ

総合的な政策提言のとりまとめ

諸制度等に  
反映

# 総合的な豪雨災害対策の推進

